

証券コード 5411

# J F Eホールディングス 会社説明

J F Eグループの成長戦略と脱炭素への取り組み

2024年3月25日  
SMBC日興証券 Web IR Day

専務執行役員 田中利弘



1. J F Eグループの紹介
2. J F Eグループの中長期戦略
3. J F Eグループの気候変動問題への取り組み
4. グループ収益・株主還元



---

# 1. J F Eグループの紹介



# JFEグループとは

JFE

- ・ 2002年に川崎製鉄と日本鋼管が経営統合して発足
- ・ 「鉄」を起点とする商品・サービスを通じて、産業・社会の発展に貢献



JFEホールディングス

持分法適用会社

35%

※2023年度見通し

総売上収益には調整額▽5,800億円を含む

総売上収益見通し※ 5兆2,300億円



ジャパンマリンユナイテッド

(造船事業)

JFEスチール  
(鉄鋼事業)

売上収益見通し 3兆7,600億円

JFEエンジニアリング  
(エンジニアリング事業)

売上収益見通し 5,500億円

JFE商事  
(商社事業)

売上収益見通し 1兆5,000億円





# 各事業会社の事業内容と連携

JFE

## JFEスチール

あらゆる鉄鋼製品を製造販売する  
総合鉄鋼メーカー

(粗鋼生産量 国内2位、世界10位前後)

- 世界トップクラスの技術力
- 高付加価値商品に強み
- 集約された東西2大製鉄所による高いコスト競争力



SCMサポート

## JFEエンジニアリング

社会生活に不可欠なインフラ設備の  
建設やサービス提供を担う

- 環境・エネルギー分野  
リサイクルプラント、発電プラント、再生可能エネルギー設備等
- 社会インフラ分野  
橋梁、港湾設備、物流・貯蔵設備等
- プラント運営型事業



鋼材供給

SCMサポート、鋼材供給

## JFE商事

- グループ中核商社として、JFEスチール、JFEエンジニアリングと密に連携
- 国内、海外においてトレーディング事業×鋼材加工販売事業で収益拡大



## 他素材に勝る鉄の特徴

### 1. 低コストで大量生産可能

リーズナブルな価格で安定的に大量供給されるからこそ様々な分野で使用。



### 2. 多様な用途に対応可能

同じ鉄でも、お客様の用途に応じて大きく性質を変えることができる。



### 3. 加工のしやすさ

他素材と比較して圧倒的な加工のしやすさを有する。



### 4. 優れたリサイクル性

高効率な分離・回収により、高品質・高機能な部品に何度でも生まれ変わる。



## これからも基盤素材として社会を支え続ける



---

## 2. J F Eグループの中長期戦略



JFE

# JFEグループの中長期戦略

- 長期の持続的成長のために、**創立以来最大の変革が必要**
- 急激かつ大幅な経営環境変化に耐えうる**強靱な経営基盤確保**に取り組む

## 経済的 持続性

- 「量」から「質」への転換
- 売上収益1兆円に向けた事業拡大
- DX戦略の推進による競争力確保

鉄鋼

エンジニアリング

グループ全体

## 環境的 持続性

- 鉄鋼事業のCO<sub>2</sub>排出量削減
- CO<sub>2</sub>排出量削減を事業機会とみなした成長戦略の推進

鉄鋼

グループ全体



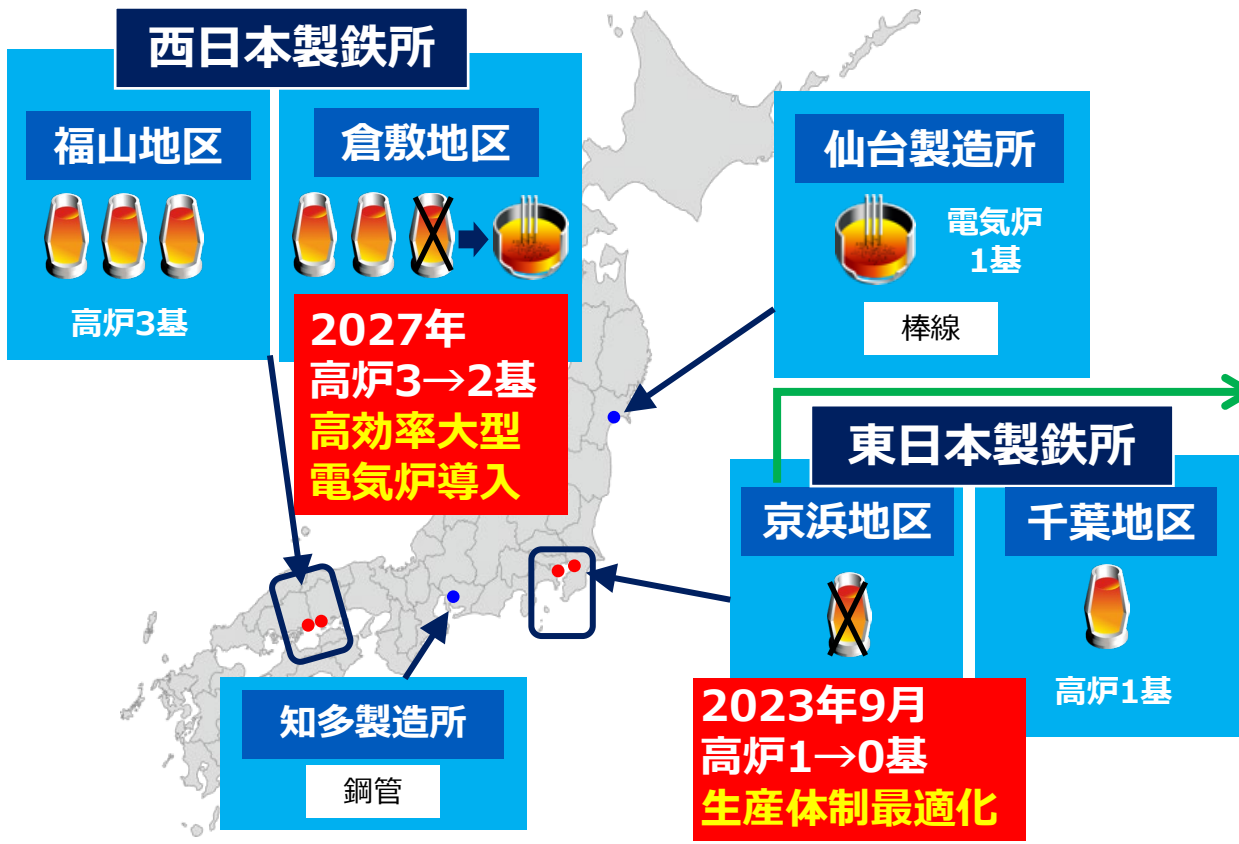


- 収益の源泉を「量」から「質(鋼材トン当たり利益)」へシフト
- グローバル競争を勝ち抜く世界トップレベルの収益力を追求

- 構造改革による生産体制最適化  
(粗鋼生産能力▽13%削減)
- マージン拡大と安定収益の確保
- 海外成長戦略の推進



- 生産体制最適化(京浜上工程休止, 2023年9月)による**大幅コスト削減、損益分岐点の改善**
- CO<sub>2</sub>排出削減のため、高炉→**高効率大型電気炉への切り替えを計画**



### 京浜地区跡地活用

- 2023年9月：土地利用構想「OHGISHIMA2050」を公表
- 跡地を「売却」「賃貸」「事業利用」を適切に組み合わせて活用

### 京浜地区の特色

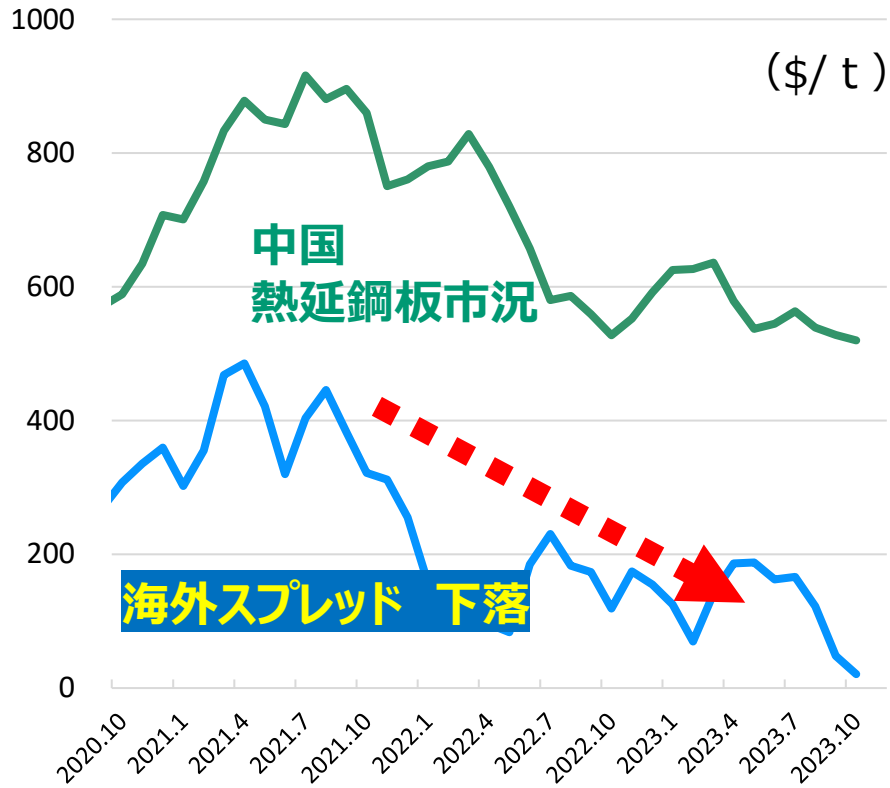
- 首都圏に立地し、羽田空港、首都高速湾岸線等に近接
- 400haを超える広大な敷地
- 国内最大級の大水深バース



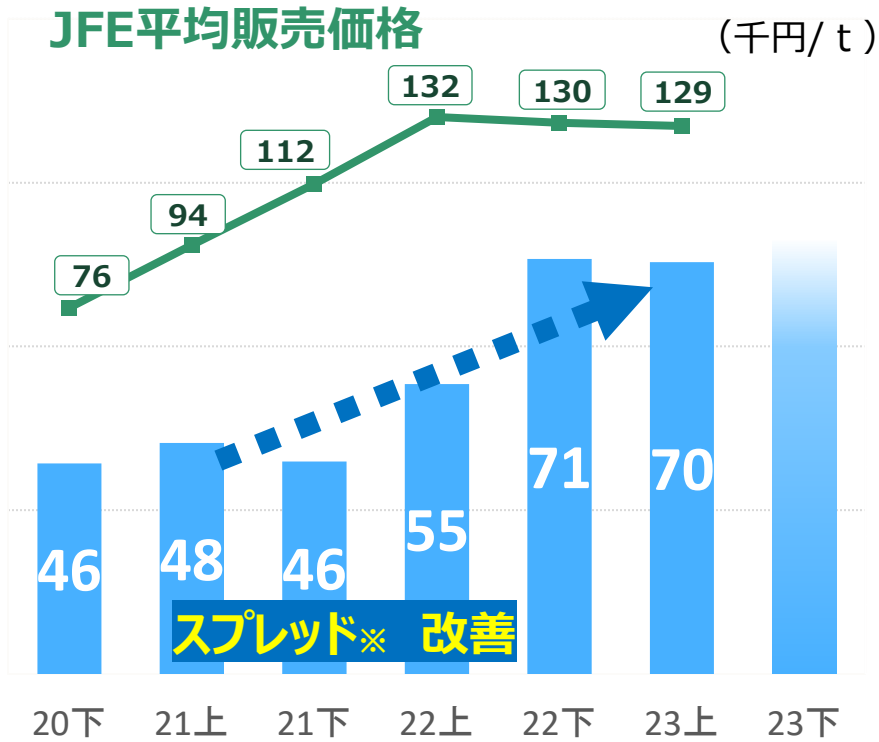
JFE

- 当社販売価格・スプレッドは、海外市況が下落する中でも着実に改善
- 「高付加価値品比率向上」「価格水準是正」の取り組みが効果を発揮

### 海外市況ベース



### JFE



※JFE販売価格-製品トン当たり長期契約主原料価格



JFE

- ・ 長期的成長が見込まれるマーケット(インド、米国等)で利益成長を追求
- ・ 信頼できるパートナーとのJV\*を軸に、インサイダーとして需要を補足

\*JV : Joint Venture、合弁事業

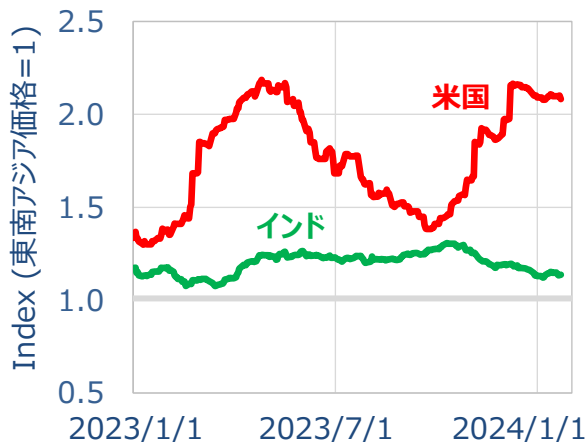
### ■ インド 高い経済成長率および鋼材需要

- ・ **15%出資するインド鉄鋼大手JSW社が粗鋼生産能力拡張** (現状：28百万t →24年度末計画：37百万t)
- ・ **JSW社と変圧器向け高級方向性電磁鋼板のJV設立** (50%出資、27年度フル生産予定)

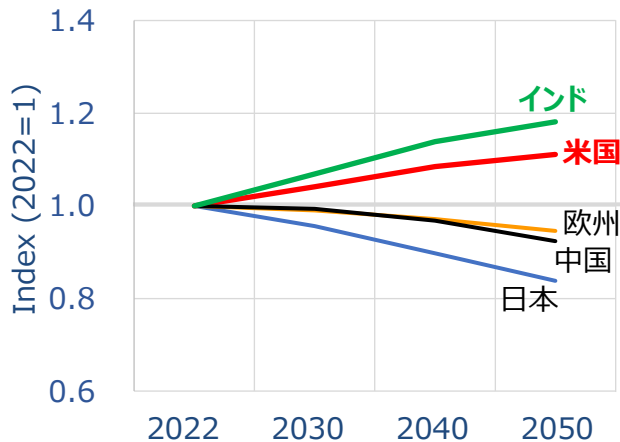
### ■ 北米 先進国最大の鉄鋼需要、人口も長期的に増加

- ・ **米鉄鋼最大手Nucor社とのJV**(CSI:建築用鋼、NJSM:自動車用鋼)による北米での収益拡大

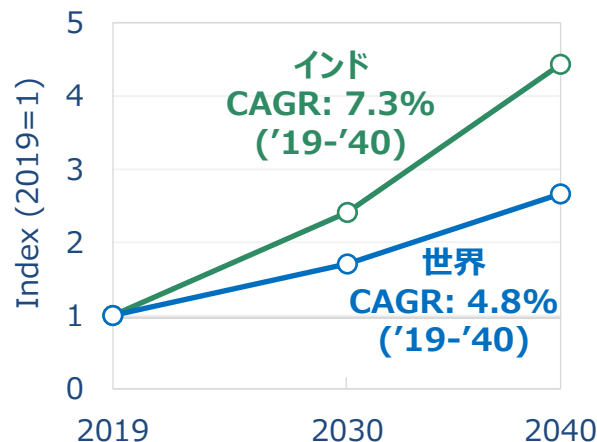
#### 熱延黒皮市況



#### 人口増減率予測\*1



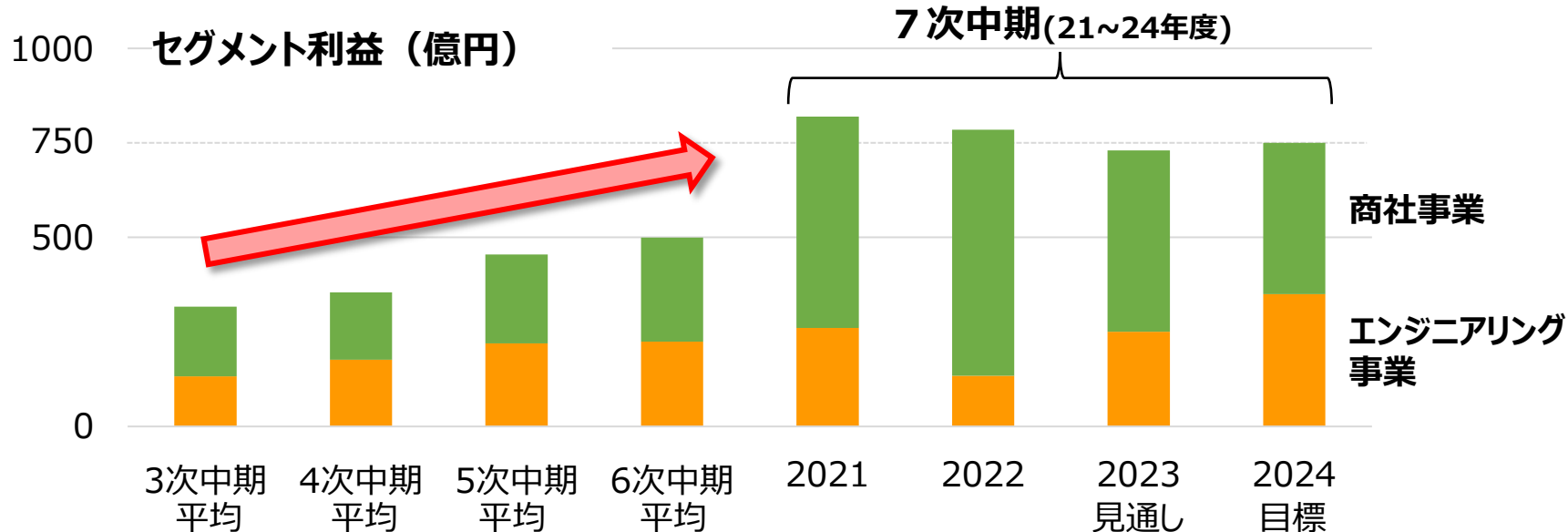
#### 世界及びインドの電力容量見通し\*2





JFE

## エンジニアリング事業と商社事業の収益貢献の推移



### エンジニアリング事業

循環型社会の実現につながるWaste to Resource分野(廃棄物発電、リサイクルなど)、カーボンニュートラル分野(再エネ発電など)を成長分野として事業規模を拡大。2030年度には売上収益 1 兆円規模をめざす。

### 商社事業

戦略分野(自動車、建材、電磁)の鋼材加工流通取り扱い量を、M&Aも活用して拡大。



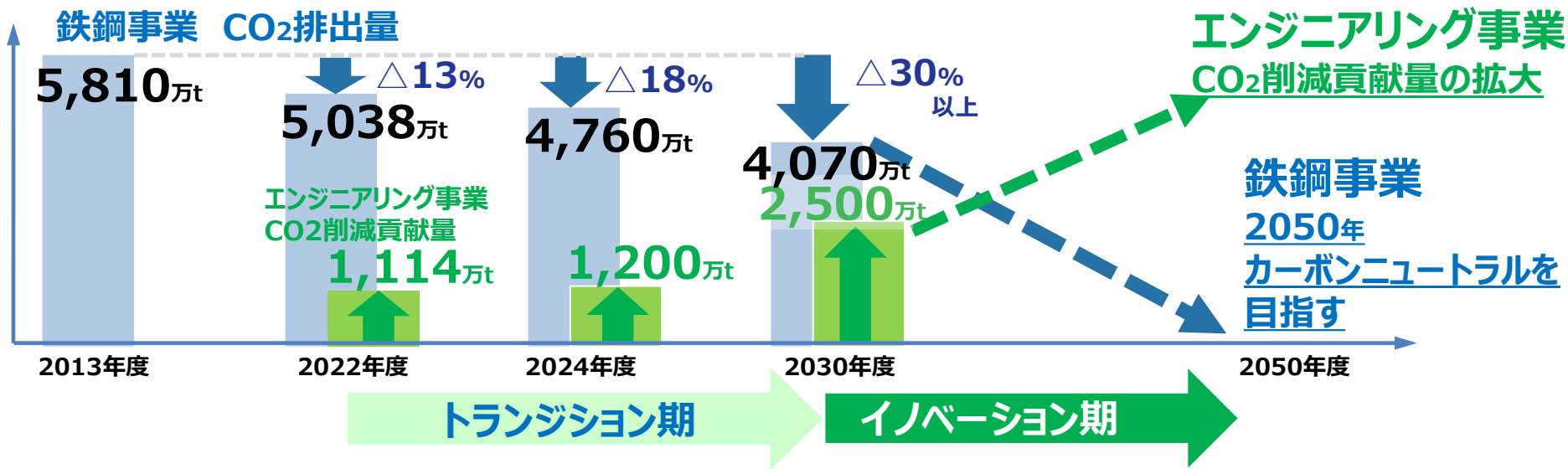
JFE

---

### 3. JFEグループの 気候変動問題への取り組み



## JFEグループ CO<sub>2</sub>削減目標



具体的  
取り組み

### ■ 鉄鋼事業のCO<sub>2</sub>排出量削減

- スクラップ利用拡大・省エネ
- 高効率大型電気炉導入(倉敷)

- 超革新技术開発への挑戦 (カーボンサイクル高炉・水素還元)

### ■ 社会全体のCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献する事業の推進

- 再エネ発電 (洋上風力、地熱、太陽光、廃棄物、バイオマス、等)



- 2023年にグリーン鋼材\*「JGreeX™」の供給を開始
- 通常価格にCO<sub>2</sub>削減価値を上乗せしたプレミアム価格で販売

### ■ 造船用厚鋼板

- 国内海運8社とCO<sub>2</sub>削減コストをサプライチェーン全体で広く負担する**社会分配モデルを世界に先駆けて構築、業界をリード。**
- 販売数量：約28,000t



### ■ 建築用厚鋼板

- 「(仮称)水道橋PREX」の新築工事に採用。
- 建物新築時の資材製造におけるCO<sub>2</sub>削減に貢献。
- 販売数量：約200t



## PREX

(仮称)水道橋PREX案件

事業者	住友商事株式会社
設計者	株式会社熊谷組
・施工者	(予定)
建物規模	鉄骨造 地上10階建て

### ■ 変圧器用電磁鋼板

- 欧州で製造される変圧器用に**方向性電磁鋼板が採用**。高効率変圧器の製造を可能とする高級方向性電磁鋼板の供給によりCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献。
- 販売数量：約300t

\* マスバランス方式によって、当社全体のCO<sub>2</sub>排出削減量を任意の製品に割り当て、CO<sub>2</sub>排出量ゼロ（Scope1, 2）とした鋼材。





JFE

## 高性能電磁鋼板

- ▶ 世界的に需要の高まるEV等の主機モーターに使用される**トップグレードの無方向性電磁鋼板（NO）**の増産により、CO<sub>2</sub>削減に貢献。
- ▶ JSWと共に、**インド初の高級方向性電磁鋼板（GO）を一貫製造する新会社**を設立。グリーンな送配電インフラの整備に寄与。

### ■ 無方向性電磁鋼板の製造設備増強 (倉敷地区)

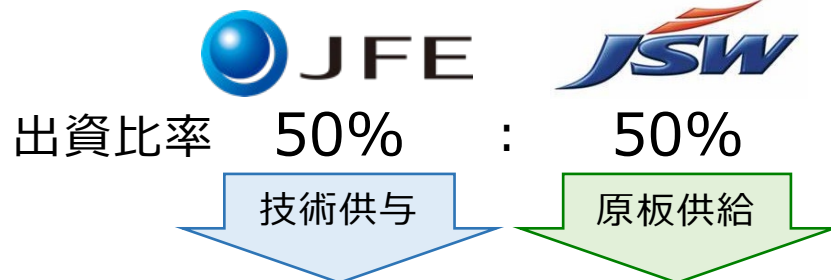
#### I 期増強

総投資額	約490億円
稼働時期	2024年度上期
製造能力	電動車主機モーター用トップグレードNOの製造能力を <b>現行比約2倍</b> に増強

#### II 期増強

総投資額	約460億円
稼働時期	2026年度中
製造能力	同、 <b>現行比約3倍</b> に増強

### ■ 方向性電磁鋼板の合併会社を設立 (インド JSW社)



JSW Steel Limited ビジャナガール製鉄所

## CO<sub>2</sub>削減貢献（合計）\*：約480万t/年



### 洋上風力用鋼材

#### 国内洋上風力発電の市場規模

- ・政府導入目標：'30年 10GW→'40年 30~45GW
- ・国内モノパイル用鋼材市場：10~20万t/年

#### 当社グループの取り組み

##### JFEエンジニアリング

- ・モノパイル製造工場が2024年4月稼働予定
- ・国内唯一のモノパイル工場として優位性を発揮（年産8~10万トン）



鋼材の供給

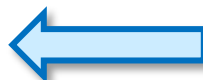


SCMサポート

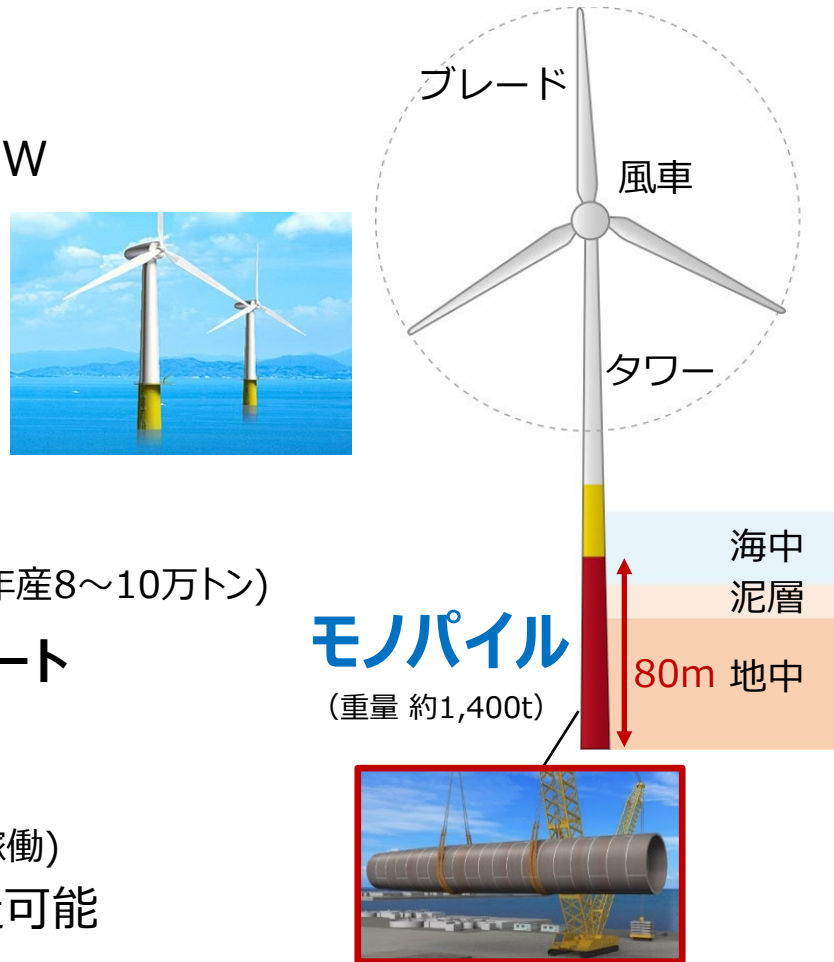
##### JFEスチール

- ・モノパイル用鋼材製造設備を増強（2023年11月稼働）
- ・アジア最大級の洋上風力向け大単重厚板を製造可能

##### JFE商事



#### ■ 着床式洋上風力発電のイメージ図



## JFEグループの総合力(シナジー)を生かし、再生可能エネルギー拡大に貢献

## 4. グループ収益・株主還元

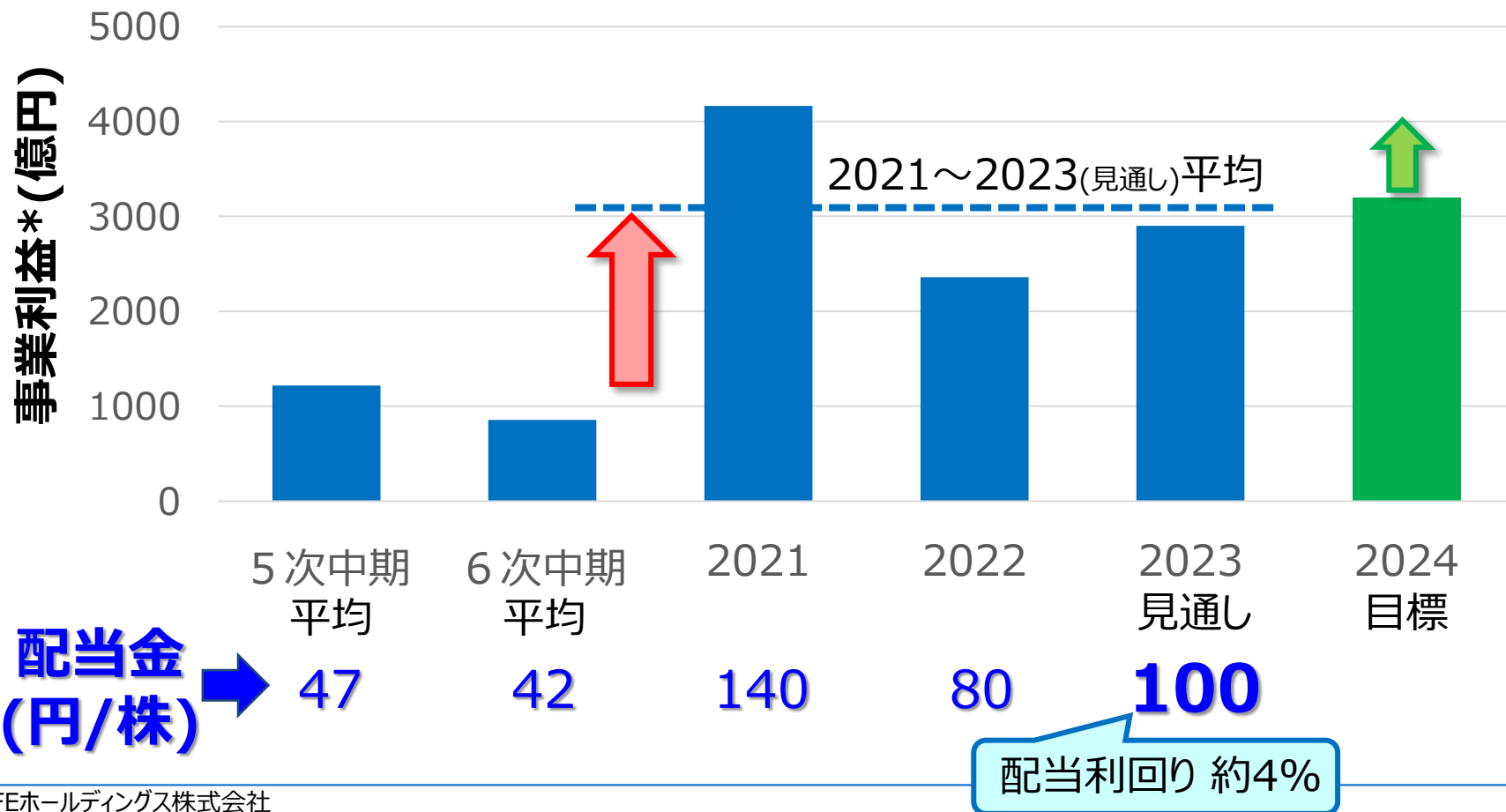


# 事業利益と配当の推移

JFE

- **2023年度は事業利益2,900億円の見通し。来期は3,200億円以上を目指す。**
- **期末配当は50円の予定(年間100円)。配当利回りは約4%(年率)。**
- **株主優待として、株主様工場見学会を年10回程度開催。**

\* ~2017年は日本基準の経常利益、2018年~はIFRS基準の事業利益





渡っちゃおうよ、未来まで。

サス鉄ナブル!  JFE

ご視聴ありがとうございました。

Copyright © 2024 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved

本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい